

## 研究課題 glomangiopericytoma (sinonasal-type hemangiopericytoma) の $\beta$ -catenin 遺伝子変異解析に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2016年8月1日から2018年3月31日までに、当院および共同研究施設における病理組織診断で glomangiopericytoma (sinonasal-type hemangiopericytoma) と診断された方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

まれな副鼻腔腫瘍である glomangiopericytoma (sinonasal-type hemangiopericytoma) は、過去10-20年で、病理医に一般に認知され出した比較的新しい疾患です。腫瘍の成り立ちは不明でしたが、近年、 $\beta$ -catenin 遺伝子の変異が腫瘍発生に関連している可能性が報告されました。今回、当院および共同研究施設で診断された glomangiopericytoma (sinonasal-type hemangiopericytoma) の数例において、 $\beta$ -catenin の遺伝子変異とその細胞シグナル伝達経路の下流因子に関して研究します。具体的には、 $\beta$ -catenin の遺伝子変異については、診断した病理標本から DNA を抽出して変異を解析します。細胞シグナル伝達経路の下流因子については、診断した病理標本を免疫染色で各種蛋白の抗体を用いて、蛋白発現の有無を確認します。研究期間は、実施承認日から2019年3月31日を予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理診断を行った標本および電子カルテでの診療情報を使用します。病理組織からは、肉眼所見、病理所見、免疫染色の結果、病理標本を用いての DNA の抽出、DNA を用いて腫瘍の遺伝子変異を解析します。電子カルテからは、年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・画像所見・生存期間・生死等の情報を収集します。診療情報の保管は、研究場所である、名古屋大学医学部附属病院病理部で、連結可能匿名化した状態で管理し、匿名化したデータはパスワードロックのかかった外付けハードディスクで保管します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

所属機関外への資料・情報の提供はありません。本研究へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学・教授・中村栄男  
名古屋大学医学部附属病院病理部・助教・中黒匡人

名古屋大学医学部附属病院検査部・医員・鈴木優香  
名古屋医療センター病理診断科・部長・川崎朋範  
岡山大学医学部附属病院病理診断科・教授・柳井広之  
トヨタ記念病院病理診断科・医長・北川諭

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科  
臓器病態診断学  
〒466-8560  
愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地  
Tel: 052-744-2582 Fax: 052-744-2651

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学・教授・中村栄男

研究代表者：

名古屋大学医学部附属病院検査部・医員・鈴木優香